



平成31年3月発行 発行: 砺波カイニヨ倶楽部 代表幹事 出村忍

東部小学校子供たちによる『カイニヨのある散居村』をテーマに、

学んだことの発表会・意見交換会を開催

- ★ 日時 3月21日(木曜日) 祝日
- ★ 場所 となみ散居村ミュージアム
- ★ 発表者 砺波市立東部小学校6年3組の児童たち
- ★ 演題 「カイニヨのある散居村を学び、結果発表と話し合い」

発表に至るまでの経過 他(担任の水木先生)

1年前「砺波の自慢はなにかな」の質問に、散居村という言葉が出てこない状況でした。カイニヨ倶楽部の天野さん・高畑さん市役所農地林務の道中さんらに散居村について教えてもらいました。見学や人との出会いを通じ、いろんな勉強が出来ました。

2学期には、砺波市としての散居に対する取り組み、又、空家対策を考えるうえで空家見学会も行いました。それを踏まえて、砺波の散居村を広める為、どのようにすればいいのか地域の人々へのアンケート・インタビューをして今日の発表会が出来る様になりました。

発表は、4グループで行います。

- ① 住めないけど散居村を守りたい。
- ② アンケート、インタビューを元に散居についてまとめました。
- ③ 住みたいし散居を守りたい。
- ④ 散居村は、このままでいいのか

発表後に、子供達が今後の散居村の有り方についてディスカッションします。



子供たちの発表様子

発表内容

東部小学校6年3組27名は、1年間カイニヨや散居村について学習し成果を発表した。又、散居村の保全について児童同士で意見を出し合った。

その中で屋敷林の景観を守る為には、近年爆発的に増加している空き家対策の大切さを指摘した。

発表者の提案

- ・空家をリフォームして移住する。
- ・1日無料お泊り体験他
- ・景観を大切にしたい。
- ・砺波の散居村を世界遺産にしたい。
- ・カイニヨのある家を一般公開・モデルカイニヨ、保全カイニヨ等



子供たちの発表様子

- ・将来も積極的に散居村の維持保全に関わりたい
- 他数多くの提案発言がありました

世界遺産にする為には3点の項目をクリアする必要がある

- ・価値が認められること
- ・将来に渡って守っていく取り組みが整っている事
- ・未来に向かって体制が整っている事

一出席者からの意見一

- ・将来、今住んでいる家をどうすればいいのかを家族で話してほしい。
- ・住みたくはないけども、やっぱり将来の事を考えてほしい
- ・大変よく勉強して考えた発表だと思います
- ・ディスカッションの最後に全員が発言して、散居村カイニヨそして、空家問題等の意見があった。
- ・砺波の直面している問題に真っ向から調査し、その意見発表があった。
- ・砺波に将来も住みたい。又、砺波の魅力を発信したい
- ・世界遺産を考えては、夢としても素晴らしいことだ。実現しようよ
- ・『カイニヨは生物、その中に動物も人間もまぜてもらっている事を忘れて駄目』



ディスカッションの状況



私はカイニヨを守りたい



展示されたパネル



散居村の風景好きだよ